

学校ホームページでは
カラー版で見られます。

学校だより
No.12

月にみがきて

H20. 10. 26

更級小学校

いよいよ「さらしなの里 縄文まつり」学校参加テーマは、
「縄文時代にタイムスリップ！
来てくれた人に楽しんで
もらえるまつりへ」です。



「さらしなの里 縄文まつり」への全校参加は、今年で3年目。学年ごとに役割分担をして今年も参加します。

メインイベント「豊穰儀礼」に主役として参加するのは5年生。準備も整ってきた古代体験パークで、少し緊張しつつも、火起こし、縄文太鼓、豊穰儀礼練習と、スタッフの方々の指導で練習を重ねました。縄文服を新たに作ったり、稲の脱穀があつたりと大忙しですが、パワーある児童のみなさんが活躍してくれると期待しています。

6年生は開催パレードの練習。春から練習してきた鼓笛演奏に磨きをかけ、会場でリハーサルをしました。参加テーマを考えたのも6年生です。今まで参加した経験から「お客さんに楽しんでもらいたい」という言葉が、まっ先に出てきました。こんなエピソードからも児童と縄文まつりのかわりが深くなってきたと感じました。

4年生は「縄文芸能村」での発表に4チームが参加。衣装だけでなく寸劇も入れて学芸会のようにはりきっています。3年生は「わくわくひろば」を準備中、2年生は縄文時代の食べ物を調べ、1年生は縄文服が完成し、育ててきた緑豆を味わいました。

休みにもかかわらず、ジャンベ演奏や、縄文太鼓の練習に参加している皆さんもいました。



22日
(水)
朝の全校集会
では、
それぞ

れが準備してきた様子、そして当日どんなことをやるかについて発表をしました。縄文時代についての「校長先生の質問」によせてくれた答も発表しました。6年生のSさんは、「縄文時代には、お酒はなかったと思う、お米をつくっ

ていなかったから」と解答し興味をひかれました。どうなのでしょう。子どもたちは遠い昔にこのさらしなの里の生きた祖先のことに思いをはせて、縄文まつりに参加します。

今年は学校も祭の共催にさせていただき、たくさんの保護者の皆さん方も含めて、将来にわたり「縄文まつり」をつなげていければと願っています。

秋の交通安全教室がありました 10月22日

「長野県交通安全教育推進センター」から3名の先生方来てくださいました。1, 2年生はビデオとパネルで「信号の意味、飛び出し事故を防ぐことなど」ていねいに教えていただきました。信号機の青、黄、赤の位置がみんなしっかりとわかっていたり、基本的な交通ルールはよくわかっている印象でした。3年生以上は校庭での車の特性の実演を見ての学習。「自動車の死角、内輪差、制動距離と衝突の怖さ」など、見事な運転とともに見学しました。運転台に入ったN先生が、6人の先生のうち、たった二人しか見えなかったことに驚いていました。運転経験のない児童のみなさんにとって、大事な学習であると感じました。

低学年は走っての飛び出し、高学年は自転車による飛び出しが、小学生の事故の多くをしめします。ご家庭でも、あらためて注意をお願いします。



保育園との交流「さらしなっ子ランド」10月23日

9月の終わりから「さらしなっ子ランド」を作って遊ぼうと保育園年長さんとの交流を進めてきた1年生、23日はいよいよグループで作ってきた遊び場をまわり遊ぶ日でした。写真のように、4月から交流してきたペアで、計画的に遊びを体験して楽しんでいました。各グループが決めたルールややり方をよく聞いて遊んでいて、楽しい中にも整然とルールを守って活動している様子に大変感心しました。先週17日には、交流授業の様子を近隣の先生方に見ていただきましたが、3年間交流実践を積み上げてきたことや、保育園の先生方の協力をいただいて、1年生と年長さんが相談できる工夫をしてきたことがすばらしい交流活動につながっていると、いい評価をいただきました。

「学校ではね、廊下は走らないんだよ。」とていねいに声をかけている1年生もいました。また、いっしょに遊んだ後では、作った遊び場を片付けるのが本当に残念そうで、それだけ熱心に年長さんのことを考えながら取り組めた1年生でした。

